

さいたま市長年頭記者会見

平成19年1月5日（金曜日）

午前11時開会

○ 進 行 記者クラブの皆さん、改めまして新年明けましておめでとうございます。  
本年もよろしくお願いいたします。

ただいまから年頭記者会見を始めさせていただきます。

それでは、幹事社の埼玉新聞さん、進行方よろしくお願いいたします。

○ 埼玉新聞 明けましておめでとうございます。ことしもよろしくお願いいたします。

1月の幹事社を務めます埼玉新聞と申します。

じゃ、早速ですが、市長から平成19年の年頭あいさつ及び本日の議題  
につきまして、説明をお願いいたします。

○ 市 長 それでは、皆さん、新年明けましておめでとうございます。どうぞひとつ  
ことしもよろしくお願いいたします。申し上げます。

また、昨年は市政各般にわたりましてのご理解、ご協力を賜りまして、  
まことにありがとうございました。この19年の幕明けは、申すまでもなく浦和レッズが  
この天皇杯連覇を果たしたということに始まったというふうに考えております。  
Jリーグ優勝と2冠達成でありまして、ことしはいよいよACL、アジア・チャンピオンズ  
リーグの方に駒を進めるわけですから、ぜひ勝ち残っていただいて、そしてトーナメント  
に出場ができればというふうに思っているところであります。

また、大宮アルディージャの方も、ことしの秋には大宮公園サッカー場が  
リニューアルをいたしまして、1万5,000人収容のスタジアムに生まれ変わります。  
私は、ぜひこれを機にアルディージャにも奮起をしてほしいし、また将来的に  
ちょうどいい、1万5,000、ちょうど高校サッカーの試合等に非常に適切な規模  
でありますので、そういった意味では先を見据えた場合には高校サッカーのメッカ  
にしたいなというふうな希望を抱いております。どうぞこれからもよろしくご支援  
を賜りますようお願いを申し上げます。

さて、年頭の記者会見でありますので、19年の抱負ということで二、三  
申し上げたいというふうに思っております。

ご承知のように、さいたま市は13年の3市合併、そして2年後の政令市、また2年後の岩槻市との合併ということで、現在人口は約120万人という規模になりました。都市としての「キャンパス」ですね、この大きさと形が整ってまいったところであります。

常々申し上げていることですが、本市がこれまで築き上げてきました政令指定都市としての基盤、いわば「キャンパス」、これに固有の文化、いわゆるサッカーでありますとか鉄道、盆栽、人形、こういった恵まれた資源を生かしながら、多彩な「カラー」を塗っていくことにより、さいたま市らしさを生み出し、「ある部分ではナンバーワン、全体としてはオンリーワンのさいたま市」をつくっていく大切な時期であります。

そのための具体的な政策としては、マニフェストを提示をして市民の皆様を示しているところでもあります。

ことしも、「子育て支援」、「市民の皆様との協働」、「安心安全なまちづくり」、これらに重点を置きながら、このマニフェストの実現を市政運営の最重要課題として取り組み、各事業をしっかりと軌道に乗せるとともに、市民のだれもが住むことを誇りに思える理想都市の実現に向けてしっかり頑張っていきたいと、このように思っております。

また、これは年頭訓辞でも職員にも申し上げたんですが、本市は全国の政令指定都市で構成される市長会の一員といたしまして、大都市行政の円滑な推進を図るとともに、首都圏の重要な一員として、首都圏共通の課題解決に貢献をしていく役割も求められている。今後も指定都市の市長として、また首都圏の首長の一員としての立場から、日本を、関東をリードするような、そのような発言なり、また提案なりをしてまいりたいというふうに思っているところであります。

簡単ですが、19年年頭に当たりまして、一言抱負を申し上げたところであります。

この政令指定都市さいたま市の発展のために、ことしもどうぞよろしくお願いを申し上げます。

これ岩槻の木目込人形でして、木目込人形というのはこの筋がついていますが、割って、そこに生地を入れ込んでいくんですね。それで木目込人形というんですが、これ文化財か何かかな……

○ 事務局 伝統的産業（伝統的工芸品）です。

○ 市長 伝統的産業（伝統的工芸品）にこれはもう既に指定をされています。それで、今度、去年の12月に大体決まったんですが、岩槻人形全体を指して、今度は着衣ですね、これ要するに木目込みだから、いわゆる木目込んでいくんだけど、着衣、例えばおひな様とか、ああいう衣裳を着るもの、この岩槻人形も伝統的産業（伝統的工芸品）に指定されるということになりましてですね、非常に喜ばしいことだなというふうに思っています。

（※12月27日 産業構造審議会 伝統的工芸品産業分科会第7回指定小委員会での審査を  
通過。今後、産業構造審議会の審議を経て、経済産業大臣の指定が必要。）

ちなみに、これ「井藤」さんという前の人形組合長さんのところでつくった人形ですけども、デパートで市価8,000円だそうであります。余り欲しそうな顔、だれもしませんね。それじゃ困るんですけども、まあまたこの市報さいたまですね、この表紙は全部これ木目込人形のイノシシです。あとでまた何かの折にごらんになっていただければというふうに思っております。

次に、きょうの議題として出ておりますが、浦和レッズへの「ホームタウン感動賞」及びサポーターへの「ベストサポーターズ賞」の贈呈について、お手元に配付をしてあります資料のとおりであります。浦和レッズがなし遂げました昨年のJリーグ優勝、また今回の天皇杯連覇、これ「サッカーのまちさいたま」を全国に向けて発信をするとともに、さいたま市民に夢や感動を大いに与えてくださいました。また、このことは、チーム躍進の支えとなっているサポーターの熱い応援があり、実現をしたものと考えております。

実は、Jリーグにはジョイン賞という、過去表彰がありました。これ99年に始まりまして、第1回目を浦和レッズが受賞したんですが、これはチーム、それからサポーター、行政、この三位一体ですね、この三者が一体となって非常によくやっているという表彰がこのジョイン賞だったんです。ところが、何度やっても全部レッズになっちゃうもんだから、今廃止をされています。それくらいこのサポーターの力というのは大きいなというふうに思っております。この間も優勝祝賀パレードがありまして、私オープンカーに乗ったらよく見えなかったんですが、後でテレビ埼玉さんの

ビデオですか、あれはね。あれを拝見しました。やっぱりサポーターがすぐさま終わった後、紙吹雪を拾い集めている。ああいう姿を見ますとね、本当に世界のサポーターだなど、こんな気がいたします。

そんなことで、サッカーを核としたスポーツのまちづくりを推進して、一市民スポーツを掲げているさいたま市、この功績をたたえまして、クラブに対し「ホームタウン感動賞」、そして日本一のサポーターに対しましては「ベストサポーターズ賞」を贈呈することを決定をしました。

なお、贈呈は1月28日にさいたまスーパーアリーナにおいて開催されます、レッズフェスタの中で行う予定となっておりますので、ひとつ取材方をよろしく願いをいたします。

議題については以上ですが、お手元に配付をいたしましたパンフレットのとおり、「さいたま市消防出初式」が7日（日）、次の7日ですね、日曜日です。また、「成人式」が8日（祝）、引き続きになりますが、開催をされます。これらも取材方をひとつどうぞよろしく願いを申し上げます。

とりあえず以上です。

○ 埼玉新聞

ただいまのご説明について、質問あればお願いします。

すみません、じゃ市長、ホームタウン感動賞とベストサポーターズ賞なんですが、クラブに対して賞というのはわかる、サポーターにはどのような形で。

○ 市長

そうですね。ベストサポーターズ賞の受賞者ということになるかと思えますけれども、これ個人に贈るものではございませんので、皆さんに差し上げたいということなので、代表してクラブに受け取っていただいて、多くのね、サポーターの目に触れる場所、レッズスクエアでも何でもいいんですけれどもですね、いろんなところに持ち回りでもしてもらえるとありがたいのかなと、そんなふうに思っています。

○ 埼玉新聞

何か盾とか賞状とか、そういうものをご用意されるということで……

○ 市長

ええ、そういうのを用意いたします。盾だけ……

○ 埼玉新聞

ちなみに……

○ 市長

じゃ、説明して。

○ 事務局

ブック型ではないんですが、通常の賞状とは違いまして、何ですか、賞状が中に入って、写真のスタンド的なような感じのものでございます。

- 埼玉新聞 一応盾でいいんでしょうかね。
- 事務局 そうですね。
- 市長 盾ですね。こういうよく折り畳み式のあるんだけど、あれだと字がちっちゃくなっちゃうんでね、遠くからでも読めるようにということで、こういう大きな一枚盾にさせてもらいました。
- 埼玉新聞 ほかございますでしょうか。
- じゃ、ないようですので、幹事社として代表質問をさせていただきます。
- 先ほども新年のごあいさつの中に抱負等いただいておりますが、具体的に取り組みたい新しい課題とかございましたら、お話をいただきたいと思えます。
- 市長 先ほども申し上げましたが、ある部分ではナンバーワン、全体ではオンリーワンを目指すんだということの中で、やはりマニフェストの実現ということを市政の最重要課題として取り組んでまいると、この姿勢に変わりはありません。
- また、このマニフェストにつきましては、この春で制定後と申しますか、マニフェストを発表いたしましたから2年という歳月がたちますので、当初の予定よりも前倒しが必要となったものでありますとか、さらにまた内容の一部の充実を図る必要があるものとか、マニフェストには載っていないけれども、喫緊の課題として浮かんできた事業でありますとか、さまざまなものがあるわけでありまして、総点検をしながら実現に努めてまいりたいというふうに思っております。
- この中で、先ほど申し上げましたが、特に子育て支援、それから市民の皆様との協働、それから安心安全なまちづくり、これの3点には特に力を入れてまいりたい。
- 具体的には、子育て支援につきましては、子供を取り巻くさまざまな課題を一元的に解決できますよう、組織の見直しを初めとする子供に関する施策の充実強化を、また市民の皆様との協働につきましては、浦和駅東口再開発ビルにことしの秋、市民活動サポートセンターを開設いたしますので、ここを拠点として市民活動と協働の取り組みの一層の推進を図りたい。また、安心安全なまちづくりにつきましては、今年、八都県市合同防災訓練をさいたま市で開催をすることになっておりますので、これらを契

機としながら、本市の防災・防犯体制の一層の充実強化などに重点的に取り組んでまいりたい、このように考えている次第でございます。

ことしも理想都市づくりに向けて全力で取り組んでまいりたいというふうに思っております。

とりあえず以上です。

- 埼玉新聞      ご質問ある社をお願いします。
- 市 長          はい、どうぞ。
- 読売新聞      子供の組織一元化なんですけど、組織といっても局だったり部だったりあるわけですが、どういった規模のものを想定しているのでしょうか。
- 市 長          とりあえず部相当のものを想定をして、今考えているという段階です。
- 読売新聞      部というと、保健福祉の下に入る形になるんですか。
- 市 長          局としては、保健福祉局に入ろうかと思っています。
- 読売新聞      ほかの政令市だと、子ども未来局とかいろんな局を持っている市があるわけですが、局じゃなく部というのはどういったことから。
- 市 長          まだ局かどうか完全決定していないんですけども、とりあえず部ということ考えてみてですね、これじゃやはり範囲が広いぞということになってきた場合には、また局として考えたいというふうに思っていますが、何かあれば。
- 助 役          局とするには、それなりにやっぱり組織の規模が要るんですね。現時点では部相当ぐらいかなというようなイメージでやっております。
- 市 長          非常に幅広いですからね、本当にね。こういう「子育てするならさいたま市」というキャッチフレーズよく使いますけれども、それこそ幼児医療の問題から、子供たちの安全の問題から、それから次は教育の問題入ってくるわけですね。これは、もう子供さんが小学校に通うようになる、また中学校に行くようになる、そうするともう中学生の受験という問題も当然出てきますし、いろんな意味でお母さん方というか、保護者の方がね、やっぱり一番関心があるのが小学校の3、4年生以上になりますかね、教育というものが非常にやっぱり大きなポイントになってくるだろうと思ってるんですね。そういった意味では、ことし中高一貫教育、いわゆる市立浦和中学校が開校をさせてもらうということの中で、一つのね、フラッグとして、さいたま市の大きな教育のフラッグとしてそういったものが機能



民主党がもう一人出すのかどうか、その辺が大きなポイントになってくるんじゃないでしょうか。

- 読売新聞 市長のその応援のスタンスというところ。
- 市長 やっぱり与党中心になりますよね。ところが、市長選挙でね、民主党の党としての推薦はありませんでしたけれども、民主党系の個々の市議さんのご支援は大変いただいておりますので、その辺をおもんばかりながらですね、考えてまいりたいというふうに考えています。
- 埼玉新聞 ほかがございますか。  
じゃ、以上で質問終了させていただきます。
- 進行 これで年頭記者会見を終了させていただきます。本日はありがとうございました。

午前11時19分閉会